

分野	項目	内容	予定及び実績
普及啓発	<p>■相談窓口案内「気づいてくださいこころのサイン」を活用した普及啓発</p>	<p>「ひとりで悩まず相談を」というメッセージと相談窓口の情報を広く伝えることを目的に作成。児童生徒を通じて家庭に情報へ届けるため全小・中・高等学校へ配付。待ち時間等に手に取ってもらえるよう病院、薬局、歯科医院へ配架依頼。キャンペーン、研修会等の参加者へ配付するなどの機会を通じ広く周知普及啓発を図る。</p>	<p>全小中学校、高等学校児童生徒教職員へ配付、病院・薬局・歯科医院・ハローワーク等公共施設へ配架、民生委員児童委員・よろず相談センター等関係団体、各種研修会、会議参加者への配付、イベント、キャンペーン等での配布、駅地下広告板を活用し拡大したものを掲示、市民課で転入者用資料として配付、各課に配架、必要に応じて窓口で渡してもらっている。配布約5万枚</p>
	<p>■メンタルヘルスセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用した普及啓発</p>	<p>幅広い年齢層にうつへの早期気づきを促すとともに心の健康に関心を持ってもらうことを目的に、パソコンや携帯電話を使って簡単にストレスや心の落ち込み度がチェックできるメンタルヘルスセルフチェックシステムを導入し、サービス提供する。併せて各種相談窓口の情報も掲載。</p>	<p>メンタルヘルスチェックサービス「こころの体温計」提供メニュー「本人モード」「家族モード」「あかちゃんママモード」「アルコールチェックモード」「ストレス対処タイプテスト」全メニュー総アクセス件数 109,176件(平成24年度)。116,101件(平成25年度)。</p>
	<p>■自殺予防週間関連事業</p>	<p>市庁舎へ横断幕掲出「かけがえのない命を大切に」、公共施設へポスター掲示、街頭キャンペーン、広報ひらつか、地区公民館だより、男女共同参画メルマガ、HP等へ関係記事掲載、報道機関への情報提供、FM湘南ナパサでのメッセージ発信、図書館での「こころと命のサポートのための本」コーナー設置と「こころと命のサポートのための本」のリスト作成。</p>	<p>・横断幕掲出、ポスター掲示、心の健康についての記事掲載、FM湘南ナパサでの情報発信、図書館での「こころと命のサポートのための本」のコーナー設置、映画上映、街頭キャンペーン、平塚駅構内へ相談窓口案内配架。</p>
	<p>■自殺対策強化月間関連事業</p>	<p>市庁舎へ横断幕掲出「かけがえのない命を大切に」、公共施設へポスター掲示、街頭キャンペーン、広報ひらつか、地区公民館だより、男女共同参画メルマガ、HP等へ関係記事掲載、報道機関への情報提供、FM湘南ナパサでのメッセージ発信、図書館での「こころと命のサポートのための本」コーナー設置と「こころと命のサポートのための本」のリスト作成。</p>	<p>・市民ホール確定申告コーナーへ、相談窓口他ポスター、リーフレット等掲出し、情報提供。中央図書館へ特設コーナー設置。返却スリップ(返却期限を記載して貸出時に渡すしおり)にこころの体温計ほかメッセージを記載したものを期間中使用。こころと命のサポート特集映画会。「わかちあい・交流会」実施。</p>
	<p>■命の尊さの普及啓発(協働事業)</p>	<p>日ごろから本を通じた地域活動をしている団体と読み聞かせ等の活動を通じて「命の尊さ」の普及啓発を協働で実施。協働先団体:浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会</p>	<p>協働事業で作成した「いのちの尊さをつたえる本」vol.1～3のリストから選んだ本を、読み聞かせに活用してもらう。他の協議会にも配付し取り組みを紹介し周知・活用を図る。実施2地区、延べ実施回数99回、延べ参加者数2,960人。浜岳中学校から協力をもらい、自殺予防啓発ポスターの作製と街頭キャンペーンへの協力(美術部員・駅地下道へ掲出)、保育園ボランティア(子どもたちとのふれあいと通じて生きる力、命の大切さを感じてもらう事業)を実施。浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会会報に「協働事業」の取り組み記事掲載、自治会回覧。ホームページにいのちの尊さをつたえる本の中から、毎月2冊選び「今月のおすすめ本」コメントをつけて紹介。今井亮太郎氏(元花水小学校長子息)よりコンサート収益から小中学校に「いのちの大切さを伝える本」(いのちのまつりシリーズ他)の寄贈を受ける。</p>
<p>■視聴覚教材を活用した普及啓発</p>	<p>いじめの問題や命の大切さをテーマとしたDVDやビデオを学校の道徳授業や人権教育に活用してもらうよう貸出しをする。</p>	<p>11タイトル所蔵 作品リストを作成し、学校の人権教育担当者会で紹介。道徳授業、人権学習会などでの活用を図る。延べ8タイトル貸出し</p>	

分野	項目	内容	予定及び実績
人材育成	■ 広報活動	リーフレット配布、HPでの情報提供、FMナパサを活用したメッセージ発信、機関紙等に関連記事掲載。	広報ひらつか(9月第1金曜日、3月第1金曜日・・・精神疾患についての特集号として発行、ゲートキーパー養成の取組等も合わせて掲載)FM湘南ナパサ(5月7日、8月13日、12月10日、3月4日)機関紙(地区公民館だより、人権男女メルマガ)、HP、ポスター等を活用した情報提供、メッセージ発信。
	■ 講演会等	命の大切さ、人と人とのつながり、家族の絆、心の問題等をテーマにした講演会を実施。	【生き方・命の大切さを考える講演会】(中学校との共催企画)中学生に命の尊さを伝えるとともに自己肯定感を高めてもらう講演会を実施(保護者にもよびかけ)6月19日(金目中学校)11月21日(浜岳中学校)で実施。【思春期教室】(大野中学校)健康課が学校からの依頼を受けて実施する教室でこころの健康や相談窓口についての情報提供を行った。
	■ ゲートキーパー養成	自殺問題への正しい理解を深めてもらうとともに、身近な人の様子の変化に「気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて相談へつなげ、見守る(支え合う)」ことの大切さを伝えるために、「ゲートキーパー手帳」及び「こころといのちのサポート」の冊子を活用した研修会を実施する。また、情報宅配便のメニューとしても提供。	①福祉総務課職員5/30・・・7人、②福祉総務課職員5/31・・・7人、③自殺対策庁内会議(課長)6/27・・・17人、④自殺対策担当者会議7/12・・・18人、⑤保健福祉研修7/23・・・36人、⑥生活福祉課職員8/13・・・14人、⑦生活福祉課職員8/15・・・10人、⑧新採用職員10/4・・・13人、⑨理容組合10/29・・・102人、⑩平塚ろう学校11/13・・・64人、⑪真土地区社協11/20・・・11人、⑫スクールカウンセラー11/28・・・8人、⑬神奈川県傾聴赤十字奉仕団1/20・・・39人、⑭美容事業者1/21・・・158人、⑮幹部職1/24・・・21人⑯庁内職員2/21・・・68人 受講後に、グリーンのピンバッジを配付(神奈川県支給)16回、594人受講*平成25年度から、研修修了者に県が作成するリボンバッジを配付し、ゲートキーパーへの理解を広げていく。
	■ 自殺対策研修会	市民、関係団体、職員等を対象に実施。また、神奈川県等が実施する研修会に職員を派遣し職員の資質向上を図る。	【人権教育担当者・自殺対策庁内会議研修】12月18日(ホームレスの人権と自立支援)【保健福祉研修】1/28「対人援助と窓口対応している職員の心のケア」(担当者受講研修)【自死遺族研修】7/22【自死遺族支援活動研修】10/9【自殺対策基礎研修Ⅰ】6/12【自殺対策基礎研修Ⅱ】11/27【ゲートキーパー養成指導者研修】6/21【自殺未遂者支援研修】1/15
推進体制	■ 自殺対策庁内会議	庁内関係18課の課長職により構成。関係各課の連携・協働体制の構築、情報共有のために設置。	①6/27会議、②12/18会議・講演会
	■ 自殺対策担当者会議	市民から寄せられる様々な相談が適切な支援につながるよう、担当者どうしの連携、情報の共有を図り、また自殺対策に関する知識を深めていくために開催。庁内関係18課の担当職員+平塚保健福祉事務所・社協・警察職員で構成。	①7/12会議(ゲートキーパー研修)、9/2街頭キャンペーン、2/25事例検討

	<p>■平塚市自殺対策会議</p>	<p>平塚市民のこころと命を守る条例第16条に基づき、総合的な自殺対策を推進するため、平成22年度に設置。平成25年度から附属機関として位置づけとなる。</p>	<p>会議 7月30日(火)13:30~15:30</p>
<p>その他</p>	<p>■自殺者等の実態把握</p>	<p>内閣府「地域における自殺の基礎資料」(警察庁自殺統計ベース/厚生労働省人口動態統計ベース)等から入手できるデータによる実態把握。自殺未遂者については、救急搬送(自損)件数による人数等の把握(消防救急課) 自損事故救急搬送件数・・・平成24年中(184件出動、161人搬送) 平成23年度中(216件出動、178人搬送)</p>	
	<p>■福祉総務課 保健福祉総合相談</p>	<p>保健福祉総合相談に寄せられる相談については、内容を聴き取り必要に応じて関係課、関係機関へつないでいる。離職によって住宅や生活に困窮した方に対する制度である住宅支援給付についての相談の場合は直接対応(社協への貸付案内を含む。)</p>	<p>保健福祉に関する電話相談、来所相談や住宅支援給付相談、に対応。関係各課、関係機関との連携及びつなぎに際し専門知識が必要となる困難ケース等の相談については社会福祉士が対応している。こころの健康相談件数・・・12件(窓口案内2件、面接6件、電話4件。H25年度総合相談窓口全相談件数1,961件</p>
	<p>■自死遺族支援</p>	<p>自死遺族の方が利用できる専用の相談窓口を周知する。自死遺族の方への理解を深めるための研修等を実施する。自死遺族の方を対象とした分かち合いの会のあり方について検討する。</p>	<p>自死遺族の方が利用できる専用相談窓口、分かち合いの会の情報を周知。3月26日(水)14:00~わかちあい・交流会実施(横浜ゴム平塚製造所記念館)</p>
	<p>■視察等</p>	<p>平塚市民のこころと命を守る条例、こころと命のサポート事業に関する行政視察</p>	<p>議員視察 平成25年度3件 8/20(高砂市)、10/8(高槻市)、11/13(刈谷市)</p>
	<p>■庁内評価の実施</p>	<p>人材や財源を有効に活用し、市政のスリム化や事業の効率化などを図り、行政サービスの改革を着実に進めることを目指し、内部での事業の見直しの強化を図り、一層の事業の自主的な見直しにつなげるために実施。こころと命のサポート事業(自殺対策)を対象事業として選定し、(庁内全18事業)評価、検証。</p>	<p>こころと命のサポート事業(自殺対策)の事業内容を他課職員による作業メンバーの視点で検証。県、教育分野、他課等との連携を図っていくべきであるとの評価を受け見直しをし、平成26年度は県との連携による講演会、相談会を実施することで事業の質的拡充を図っていくこととした。</p>